

テキスタイルカレッジ

染色加工（実務と応用）

テキスタイルカレッジ「染色加工（基礎）」では、染色の基本的な考え方から天然繊維と合成繊維での染色加工技術に関する基本技術について原理を含め「やさしく、わかりやすく」解説しました。「染色加工（実務と応用）」では、繊維業界に長年携わってこられた方々に、基礎講座を踏まえ繊維別に染色・高機能加工の実際の対応や応用技術に関して詳細に解説していただき、さらに高機能繊維などの性能評価、省エネ・環境関連技術、安全性と法規制、染色工場のQAプロセスに至る現在の繊維業界が抱えている課題を「よりわかりやすく」解説していただきます。

講義内容は、最近の技術の進歩や新たな染色加工技術への展開についても触れていただきます。実務で染色加工に携わっておられる方々のみならず、アパレル製品関連をはじめコストダウンや環境関連(SDGs)技術分野をも含めた幅広い分野の方々を対象としていますので、多数の方々のご参加をお待ちしております。

1日目【11月16日（木）】

（1）機能加工剤と環境・安全基準（9:30～11:30）

元日華化学，金崎技術士事務所 金崎 英夫

繊維産業の環境汚染や安全性が世界的に注目される中、欧米の大手アパレルメーカーを中心に繊維加工に関する規制が強まっています。今回は国際的な環境規制やグローバル認証制度等を念頭に、環境・安全性に配慮された機能加工剤及び機能加工処方の紹介を行います（衛生加工，撥水加工，防炎加工，紫外線遮蔽加工，防蚊加工等）。

（2）セルロース系繊維の染色加工（11:40～13:10）

元東洋紡，日本繊維技術士センター 橋本 嘉顯

「染色加工基礎講座」を受け、それぞれの工程を深掘しつつ、「生産現場を意識した、留意点や問題解決の方向性」及び「繊維製品の調達を意識した、各工程の意義や品質問題への対応施策」を、実現場のサンプルを通して解説します。

（3）タンパク質系繊維の染色加工（14:00～15:30）

日本毛織（株）衣料繊維事業本部 販売統括部 販売促進部 主席（開発担当） 馬場武一郎

ウールは染色中に化学変化が起こるというユニークな繊維です。そして繊維の表面構造に向きがある、水をはじく等、他の繊維には無い特徴もあります。このような性質を知った上で工程設計を行うことにより、羊の毛本来の長所を持ちながら、素晴らしい風合いの織物を作ることができます。さらにシルクも加え、タンパク質系繊維の染色・仕上加工の要点を解説します。

（4）合成繊維の実用染色と特殊加工（15:40～17:40）

元ミツヤ，福井大学大学院客員准教授，サステナテック（株）研究員 水囊 満

合成繊維は市場ニーズに応えるため、組成，形状，物性の異なる繊維が数多く創出され、これらを駆使した編織物が開発・生産されております。その合織を染色加工する設備や技術も科学技術の発達とともに進化してきました。日本における合織の一大産地である北陸地方の染色会社で生産技術開発に携わってきた経験をもとに、実際の染色や機能加工の方法について具体的に解説します。さらに、SDGs達成にも貢献する環境負荷低減，省エネを目的とした未来志向の技術として、超臨界流体，電子線照射などの繊維加工への応用についても言及します。

(5) 実用捺染技術 (9:30~11:00)

(一社) 日本染色協会 大阪事務所 所長 大島 直久

捺染技術は、人々の生活を豊かにするテキスタイルに、自然界の美しさや抽象的なデザインを配してきました。これまで、様々な捺染技術が生まれ、発展してきた。本講座では、手捺染から機械捺染、更にデジタルプリントに至る捺染技術の概要からその変遷及び実用捺染技術について解説します。

(6) 機能性繊維の性能評価 (11:10~12:40)

シキボウ(株) 開発技術部 商品開発課専門課長 鞍谷雅彦 鞍谷 雅彦

我々のまわりには、様々な機能性繊維製品が溢れています。それらを目的別に分類し、そのの中から「清潔」、「安全・安心」、「快適性」を切り口にした代表的な機能性について、そのメカニズムや評価方法を説明します。

(7) 染色加工における環境配慮とSDGs (13:30~15:00)

(一社) 日本染色協会 大阪事務所 所長 大島 直久

染色加工産業は、各種薬剤、水資源、エネルギー多消費産業であり、これらは環境へのインパクトが大きい。それ故、国内においては、化管法・化審法・安衛法等の様々な法規制の遵守により環境負荷の低減に努めています。一方、海外においては、グローバルな川下企業が連合体を作り、製造現場の監視・規制の強化を推進しています。また、SDGs に代表されるサステナブルへの関心の高まりは消費者レベルにまで浸透してきました。こういった状況下での最新の取組を解説します。

(8) 染色工場のQAプロセスとその実務 (15:10~16:40)

元東洋紡、日本繊維技術士センター 橋本 嘉顯

染色加工における開発から生産、出荷後の管理までのプロセスを、QAフローチャートを中心に解説し、各工程毎の管理項目とその留意事項を解説します。また過去のトラブル事例を参考(事例研究)に、将来の重大トラブル防止策・再発防止策を検討します。

■期日：2023年11月16日(木)、17日(金)

■参加費(税別)

■方法：ハイブリッド開催(会場とオンライン)

会 員：25,000円、協賛団体会員：25,000円

※完全オンライン開催に変更する場合がございます。

非会員：33,000円、学生会員：5,000円

■会場：大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1-8-4)

学生非会員：7,000円

■オンラインツール：Microsoft Teams

■主催：一般社団法人日本繊維機械学会

■申込締切：10/31(火)

■協賛：大阪染色協会、関西ファッション連合

■申込：Web(学会HP、以下URL)よりお申込みください。

■お問合せ：日本繊維機械学会

<https://tmsj.or.jp/textile-college/webentry/>

Tel : 06-6443-4691, Fax : 06-6443-4694

E-mail : info@tmsj.or.jp

【注意事項】

- (1) 講座ではサンプルなどを回覧する場合があります。サンプルは数に限りがあるため、回覧は会場のみとさせていただきます。予めご了承ください。
- (2) 開催前に配布資料、請求書等を送付します。参加費は事前または開催後3か月以内に振込みにてお支払いください。恐れ入りますが振込手数料は各自でご負担ください。
- (3) 講演の録音・録画、ならびに講演中のスライド画面等の撮影は固く禁止します。
- (4) お申込み頂いた方のみの視聴に限定します。